



声かけあって
 事故を起こさない!
 起こさせない!
 目指そう
 安全・安心・楽しい
 森づくり活動を!!

contents

- ★7月例会案内 7月21日(日)
 「狐原山」草刈り&景観整備
 2
- ★令和6年度総会報告
 : 山田(政)
 3
- ★例会報告「ゆとりの森」整備
 : 冨田
 4
- ★6月里山部会報告: 佐藤
 5
- ★新コーナー: 安全ゼミナール①
 : 鎌田
- ★6月クラフト部会報告: 佐渡
 春のグリーンフェア報告: 岩田
 6
- ★樹木いきいき講座(その22): 藤原
- ★今月のひと枝: オオキンケイギク
 7
- ★7月・各部会の活動予定他
 8



5月の例会は美しい緑の中で、「ゆとりの森」景観整備。 P3にて報告

私たちが 森づくりを応援しています。

- ◆株式会社ニシナ屋珈琲 ◆ゆめみらい株式会社
- ◆株式会社東和テクノロジー ◆こだまクリニック
- ◆中国新聞販売店会「ちゅーピーの森」づくり
- ◆公益財団法人 SOMPO 環境財団

《 ご支援を誠にありがとうございます。順不同・敬称略 》

『もりづくり 私にできることから』をモットーに活動

- みんなで森づくり : 健康で生き生きした森を育てます。
- 森を育てる技術を磨く : 森づくりを学び、日々実践・研鑽。
- 森から学ぶ : 人と森との関わりを学びます。
- 森の恵みを伝える : 恵みを利活用し、広げる活動。

例会

倶楽部のメイン行事(原則第4日曜日)
 地域と共に活動。技術安全研修を実施。

もりメイト倶楽部 Hiroshima は1997年から活動している団体です。
 広島市周辺の里山等の整備や勉強会のほか、会員の得意分野ごとに多彩な部会を設け、幅広い活動を展開しています。

ぜひ一緒に、美しい森を未来に残し伝えるボランティア活動に参加してみませんか。私たちはあなたの力を待っています!

広島市民賞、ひろしま県民活動県知事賞、広島ユネスコ活動奨励賞、全国林業普及協会会長賞など受賞歴多数。



7月地域貢献プロジェクト例会【担当3班】



きつねぼらやま 「狐原山」草刈り&景観整備

湯来ふるさとプロジェクトとの共同で、散策道と周辺の草刈り、さらに見晴らしを良くするために、不要木の伐採を行います。是非ご参加ください。

◆日 時： 7月21日(日曜) 8時30分～
小雨決行、作業は午前中で終了予定です。

◆会 場：【狐原山】^{しらさご}佐伯区湯来町白砂

※ 湯来体育館〈湯来町大字白砂 1215 番地の 1〉の向い

◆持参物： 山の道具(道具の貸し出し有り)・名札・呼子(笛)

※ 地元のご厚意により軽食が用意されます。

草刈り機(所有の方)、スコップ、鎌等ありましたらご持参を。

◆申込み： 7月10日(水)までに各班長へ連絡。

※ 申し込みの日を、準備の都合上これまでより早めています。ご協力ください。

※ 新入会員、賛助会員その他参加希望の方は 事務局へ電話かメールでご連絡下さい。

090-6419-7531 : info@morimate-ch.com

※ もりメイト倶楽部会員外の方は、例会参加費 500 円受付にてお渡し下さい。



きつねぼらやま

2005年、湯来町が広島市に合併された記念として、狐原山に広島市民の手によって桜が植樹されました。

当時、ここに^{まつなみ}関わり、地域の活性化で活躍されていた松波氏と倶楽部の会員が知り合った事から、植林後の草刈りの要請を受け、“湯来ふるさとプロジェクト”との協働で毎年整備を続けています。春にはお花見イベントも繰り広げられ近隣の市民が集います。狐原山が桜色に染まり、たくさんの市民が楽しむ憩いの「桜の森」目指し、今年もたくさんの方の参加をお待ちしています。気持ちの良い汗を流しましょう。



写真は2023年7月の例会から

～8月例会は、5班の担当です。27日の第4日曜に予定しております。詳細は8月号会報にて～

令和6年度総会報告 6月16日(日)14:00～ 幟町集会所(上八丁堀)



総会成立。例年同様に幟会館にて行われた。



山本理事長からこれまでの活動経緯など詳しい説明

正会員数 44名(議決権を持つ会員)： 総会参加者 43名(出席者 21名、委任状 22名)
正会員数の 1/3 以上の出席により総会は成立いたしました。

■土谷理事が司会進行を務め、理事長挨拶で山本理事長より、1997年にボランティア団体として倶楽部立上げ、2007年にNPO法人化や、木を伐る・利用する・教える・楽しむを模索する部会を立上げ活動して来た経緯を会場のモニターに映像を映して説明した。

■発足当初は白木町の共有林で枯れ松の伐採や下草刈り作業、昼食時に皆が集って自己紹介や勉強会などの状況の話があった。

■議事進行は、議長に山田理事を選出し、議事録署名人に和田 学、北田 正仁の2名を選任した。

■第1号議案(令和5年度事業報告)は原田副理事長が交流事業として、例会活動・太田川流域自然体験事業、太田川源

流の森事業・企業の森づくりなどの活動結果について報告された。

また、里山自然体験活動事業、森林資源の維持管理・活用化事業では岩田理事、人材育成および環境教育普及事業では佐々木理事が活動報告説明を行なった。

■第2号議案(令和5年度収支決算報告)では、佐藤理事が令和5年度活動計算書/令和5年度貸借対照表書の説明を行ない、松崎監事から会計監査報告がなされ、いずれの議案も審議の結果原案通り挙手多数により決定了承された。

その後、議長の休憩指示により約10分間程度の休憩に入り、後の審議とした。

■第3号議案(令和6年度事業計画(案))を原田副理事長が事業の実施に関する事項まで説明を行なって、第4号議案

(令和6年度事業予算)の説明を先に、との理事長の依頼で、佐藤理事の第4号議案(令和6年度事業予算(案))の説明を先に行なった。その後、理事長が意欲的な新入会員へ各事業計画で期待する事、倶楽部発足から28年を経て新しい体制の構築に向けて積極的に活動に参加して欲しいとの提案があり、審議の結果挙手多数により2議案も了承された。

■もりメイト倶楽部 Hiroshima のボランティア団体としての活動と、NPO法人としての活動にメリハリを付けると共にスキルレベルの向上や採算性の向上を目指し、経験者はそのフィードバック、新しい人は新たな活動提案や積極的な活動参加を願って総会を閉会した。

報告：理事 山田政延(1班)

==昨年同様、永続的に運営するため総会のあり様を見直し、総会に於ける議決権を持つ正会員とは「メインの例会活動や積極的に組織の運営に関わる会員」と位置づけられている、総会の資料と委任状はメールや封書で該当する方に送付している。==



第2部の懇親会は、差し入れ歓迎で、弁当を取り寄せ引き続き幟会館にて行った。土谷班長の司会で一人ひとりがメッセージを語り大いに盛り上がった。懇親会はどこまでも welcome!! 来年もまた、大いに飲んで語り親睦を深めていきましょう。



おつかれさま！作業を終えてみんなでパチリ(左)。お昼のひと時。美味しかった猪汁とおむすび(右)

「ゆとりの森」に下見に来た時は、コバノミツバツツジのピンクの花が山裾一面を覆い絶景でしたが、例会開催の日は新緑の濃淡がこれまた絶景。鶯も「ホーホケキョ」と見事な鳴き声を響かせておりました。

当日は、薄曇りの絶好の作業日となり、遠くにも関わらず皆さんの集まりもスムーズで、スケジュール通りに進行。原田副理事長の「安全を第一」に事故がないよう取組みましようとの挨拶を皮切りに、佐藤さんから前年この場所で発生したヒヤリハットの要因及び諸注意について説明の後、班ごとに作業内容の合意形成をはかり作業場所へ移動。

いずれの作業エリアとも枯れ松が多く景観を損ねている状態。経験豊かなA班においては、遊歩道沿いにある枯れ松や雑木を中心に次々と伐採。チルホールが必要な枯損木伐採時には、取扱いの操作説明を加えながらチル

ホールを設置。伐倒体制が整った時点で「チルホール操作側」、「チェーンソー使用側」と連携を確実に取りながら、張力の掛け具合や、迫いを入れる深さなど身振り手振りを交え、熱のこもった指導付きで作業を行っておりました。操作に関わったメンバーの方は大変勉強になったと思います。

B.C班においても同じような現場環境で、眺望を妨げているヒサカキ・ソゴゴ・アセビ等の常緑樹を手分けして伐採。作業途中での枯損木伐採では、チェーンソーを日頃扱う機会の少ない若手に交代で体験させるなど、ベテランが付き添って実技指導。さながら「教育研修の場」になっていました。初めて参加された方は、育成講座以来の経験で大変勉強になりました、達成感があったとの声も。

全体的には、眺望を妨げている支障木は、ある程度処理する事ができましたが、景観を損ねている立ち枯れ松な

どは、大径木が多く数本程度の処理に留まり、また、時間を要する樹高のある大径木は次回以降の宿題としました。

作業内容の反省として、伐採した後の「枝払い、棚積み」にやや粗雑な個所が散見された点が今後の課題。参加者それぞれが「枝払いの方法や棚積み」は、どの様にすべきなのかを学び直し、次回の例会では改善されたいと思います。

昼食時には、オーナーの沖野さんが直々に「かまど」に火を入れご飯を炊き、ジビエ（猪肉）をご提供下さり、「心のこもったおもてなし」に参加者共々感謝。たっぷりのお代わりもあり美味しく頂戴いたしました。ありがとうございました。最後に、事故やケガなく無事終え解散。皆さんへ感謝申し上げます。可憐なシライトソウ



ラジオ体操でウォーミングアップ



安全な作業のための諸注意：佐藤さん



食事係りを担当：杉田さん、北田さん。

9日(日) 場所: 妙国寺裏山スクゥスクゥの森 9:00~14:00 天候 雨 参加者6名

＜作業内容＞

■5月12日の里山部会は大雨で中止。山本理事長のお知り合いより譲られた彼岸花の球根をその日は植え付けできず、土中に保管。6月9日も雨予想でしたが、放置はできず雨天決行。

■当日は、会報誌見られた北野・鎌田・北田・岩田・中村・とサトウ合わせ6名の活動。予定の薪割り作業取りやめ。これは、例会・里山部会活動で出た間伐材、「カシノナガキクイムシ」による枯除伐材のコナラと檜を梅雨前には薪にしたいと考えておりました。私も、薪割り技能机上学習準備しておりましたが、やむなく中止。次回、薪割りの達人が参加していただければ後ろ姿を見て技能盗みますが梅雨真最中・・・？

■4月に薪乾燥小屋 No2 をパイプ鋼管で組み屋根をかけておりますが、景観と湿気除けで壁の構築計画これも中止。壁材として、妙国寺竹林整備時の除伐マダケを利用する計画。2年前の除伐竹ですが、孟宗竹より強度と腐敗に強いと感じていて、ぜひ活用を考えております。が、7月は完成したく。しかし梅雨？

■昨年より、我が家の庭の鉢植えソテツ(20年生)を住職に境内に寄贈の旨お伺いしており、植樹できました。ソテツは仏の座の見栄え、未永いお付き合いお願いしました。併せて、我が家の家庭菜園で育てた箒草(ソキア)より落種し発芽した箒草7株を植樹。今年の秋の妙国寺フィールドが赤(彼岸花・箒草)、

4月植樹のイチヨウなどで妙国寺フィールドが輝く光景が楽しみです。参加者の感想として、

♪あ〜めあ〜めふれふれ・・・♪

大人の雨遊びでリフレッシュできた！御意。

■昼食時坊守様より暖かい“たまご吸い物”を賜り、里山との係わりが楽しく皆童顔でした。7月14日は今回中止した作業と伐採作業予定ですが雨かも、でも遊びましょう。

■R6 年度より里山部会の世話役を理事長より依頼快諾。何をやるの？の感がありますが、先輩、後輩の皆さまのやりたいこと、里山整備とは、楽しみたいことなどご意見を聞きながらお世話できましたら楽しいかなと考えております。

「会員の皆さま、誰でも気軽に参加OK！」お待ちしております。特に、参加連絡はなくて大丈夫です。その日の気分で9時現地集合。よろしくお祈いします。

■追伸:5月の里山部会雨により中止。事務局による番外編「今年度新人シイタケ菌体験指導」に指導員(山本理事長・見勢井顧問)、参加者(升本・宮浦・林)3名の参加がありました。コナラ間伐材への菌打ちと、故本廣副理事長宅よりいただいたイチヨウの植樹。未永く見守りのお願い植樹。楽しいボランティア活動、会員の皆様よろしくお願いしします。雨の中自然を愛する童顔仲間に勇気をいただきました。



ヒガンバナの球根



寄贈した20年生のソテツ



箒草(ソキア)を植える中村さん



シイタケ菌の植え付け(先月)



ヒガンバナの球根植え付け



境内にソテツを植えこむ

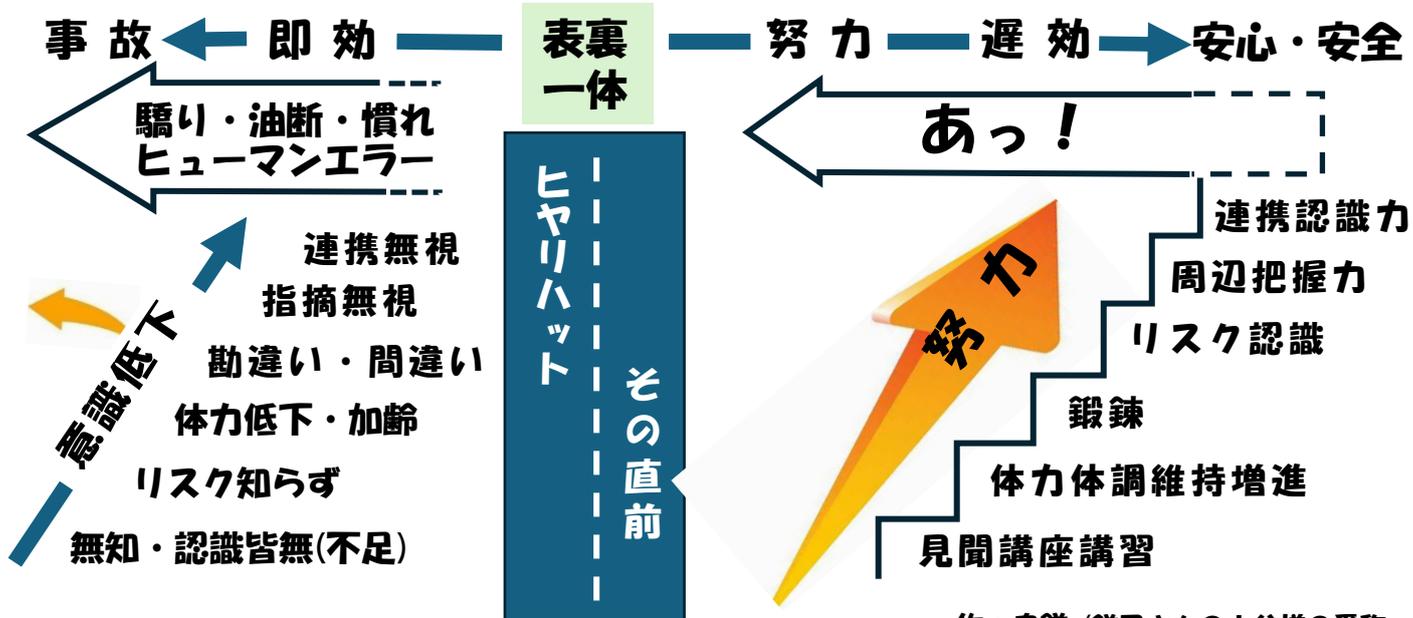


本廣さんが育てたイチヨウを植樹(先月) シイタケ菌の植え付け(先月)



今号より、いつも例会で安全を喚起して下さる鎌田さんによって「安心、安全への道」をテーマに新コラムを開設いたします。みんなで楽しく作業し、目標を目指すには、何よりも安全の確保！しっかり学んでいきましょう。

① 安心・安全は努力によるリスク軽減の成果



作：鬼鎌（鎌田さんのお父様の愛称。）

6月クラフト部会

佐渡 忠典

直ぐそばの、砂防堰堤コンクリート工事が進んでいます。6月のクラフト部会は、5月25日(土)・26日(日)にひろしまゲートパークで行われた「春のグリーンフェア」で使用した部材や道具の整理、作業場所周辺の草刈り、竹を利用したサンプル作りを行い、参加者は延べ17名でした。

7月のクラフト部会は、6日(土)13日(土)鹿ヶ谷で行います。また、7月20日(土)牛田の住宅展示場アスタで「間伐材を使ったクラフト」と題してイベントに参加予定です。



もりメイトキッズの打ち合わせも兼ね佐々木さん(左)と佐渡さん。左写真は、お好きなクラフトに打ち込む中村さん(手前)と青木さん



春のグリーンフェア報告 5月25(土)&26(日) クラフト部会長 岩田 幸信



ひろしまゲートパーク(旧市民球場跡地)で行われた春のグリーンフェア。初日は天気も快晴、9時の機械材料搬入から始まり、倶楽部員は12名参加。昨年度の春のグリーンフェアより規模が縮小されたこともあり、割り当てられたテントがメインステージ近くのテント、余り音が出ないようにとの事でしたので、注意をしながらの指導となりました。当日は、学校行事の運動会がありました、女子サッカーの試合が午後からピースウィングであり、夕方からは、県立体育館でWESTのコンサート等もあり客足が思うように伸びず36名でした。翌日26(日)も快晴、指導員は12名。午後からWESTのコンサートがありました。73名の参加者を得、2日間で109名にお集まりいただきました。

2日連続での指導員という方もあり大変お世話になりました。初参加の恵木さんは、意欲的に呼び込みを買っていただき、徳永さんも、楽しかった是非とも次回も参加させて下さい、との感想をいただきました。是非とも、これからのイベントに一度指導員として経験していただけると幸いです。



樹木いきいき講座 <その22> 3班 藤原満男

～～雑草について～～

草刈りシーズン真最中。あちこちで刈り払い機が活躍しています。刈ったと思ったらまたすぐに伸びる。今回は遅い雑草について思いを馳せてみました。

まずは、雑草と作物、野草の違いから。

作物と雑草は、人が手を入れた田公園、住宅などで生育します。これら作物と雑草に対し、人工的ではない野生で生育するのが野草です。種をまいたり苗を植えたり水をやったりする作物に対し、雑草や野草は人の

手助けが要らないものです。

昔、人間は暮らし始めた土地で役に立つ植物を作物として育てました。雑草にとっては濡れ衣かもしれませんが、人間が作り変えてしまった土地に、望まれずに生まれてくる植物が雑草と定義されます。

では、なぜ生えて来るか？『成長が早くてすぐに花を咲かせ長い期間種を作る。』『種が眠る特性がある。』『一斉に芽が出ない。』『ジャガイモやサツマイモのように、茎や根のような栄養器官が残ると再び成長する。』『風で種が飛ばされ鳥や人間など動物に持ち込まれることもある。』何より適応能力生命力が高いからです。言い換えると、人間がつくりかえてしまった土地に、望まれずに生まれてくる植物ということ。

しかし、角度を変えてみると、雑



草は不毛な土地にも種を落とし発芽させ根を下ろします。根は強力な力で固い土を砕き、アミノ酸、糖質、ビタミンなど色々な物質を出します。それを目掛けて土壌微生物が集まってきます。その微生物を食べるために、ミミズやダニなどの小さな動物たちが集まってきます。こうして土が賑やかになり、保水力や保温力も増し、微細な団粒構造ができて、雑草が生き物を育む土にしていくのです。雑草は、大地を蘇らせる力を秘めており大きな役割を持っています。共存は中々難しいところですが・・・



今週の一枝

原田 澄



オオキンケイギク(大金鶏菊)

<キク科・ハルシャギク属>

北アメリカ原産の帰化植物。日本へは明治の中頃に渡来したとされる。花期は5～7月。茎は高さ30～70㎝になり、直径5～7㎝の鮮やかな橙色がかった黄色の頭花を咲かせる。葉は下の方に付き、ほぼ対生で先が尖り平たくて細長い披針形。一時期、園芸種として導入され、道路の法面緑化に利用されたが、繁殖力が大勢で野生化し、生態系に重大な影響を及ぼす植物として各地で問題になり、2006年に環境省により特定外来生物に指定された。・・・▼そよそよと風になびくオオキンケイギク。群れて咲く姿は華やかでとてもきれい。だが、相当なくせもの。栽培・保管・運搬・販売・植栽は禁止されている。▼先日テレビでも、袋詰めして駆除する報道が紹介されていたが、ひっそり咲く在来種が消えてしまうのは忍びない。▼梅雨を迎え、山々が水を湛え青々と茂る。葉を入れ替えたタケは柔らかな緑の葉をそよがせ、ネムノキの桃色の花が空を向いてほころび始めた。この季節、どうか恵みの雨となりますように。 ～佐伯区湯来町 2024・6～

